

## 児童養護施設におけるソーシャルスキル トレーニングの実践と効果に関する研究

—子ども版QOL尺度を用いて—

特定非営利活動法人JAMネットワーク 高取しづか

## 研究の目的

児童養護施設の入所児童に実践している  
SSTの効果を検証する

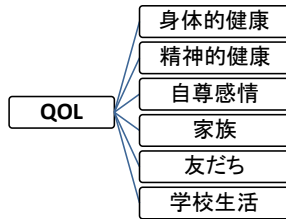
### 対象

東京都、神奈川県、千葉県の19児童養護施設  
小学生4～6年 175名（有効回答者132名）

### 期間

調査期間 2014年4年～2017年12月  
分析期間 2018年2月～4月

## 子ども用QOL尺度 KINDLRQOL尺度



- ・ 6つの下位領域ごとに4問。計24の問がある
- ・ ドイツの研究者（Bullinger、Ravens-Sieberer）が考案
- ・ 2001年 古荘純一らが日本語訳、信頼性妥当性調査

## アンケートの集計と結果

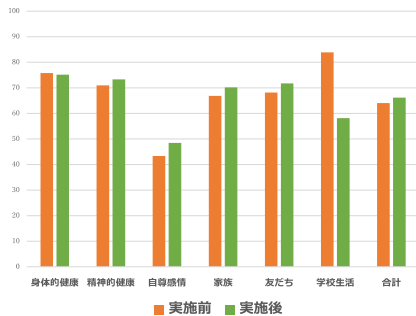
実施総数 179名  
有効回答数 132名

小学4年生 46名  
小学5年生 45名  
小学6年生 41名

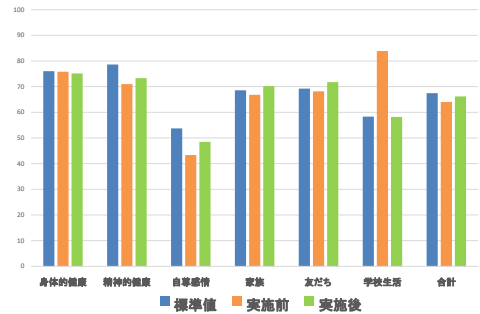
男児 69名  
女児 63名

集計・分析協力: 跡見学園女子大学大学院人文科学研究科  
臨床心理学専攻修士課程2年 掛山裕晋

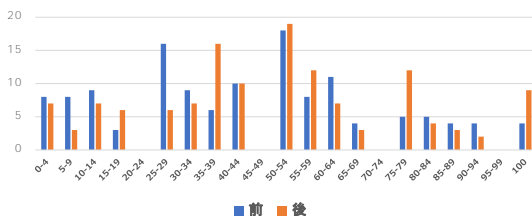
### ① 介入前後の平均点を比較



### ② 全国小学生「対照群」との比較



### ③ 自尊感情得点の度数分布（介入前後）



- ・ 0～100まで分布が幅広くばらつきが大きい
- ・ 介入によって、度数分布の山が高い方に移動（右寄り）している。

## 結果

① SST介入によって、入所児童の生活全般の主観的満足度である「総得点」が上がり、特に「自尊感情」が有意に上昇した。「学校生活」は下降した。

② 全国小学生「対照群」との比較では、入所児童の学校生活以外は下回っていた。「自尊感情」は介入前は「対照群」に比べて大きく下回っていたが、介入後は近づいてきた

③ 個別の推移をみると、「自尊感情」得点が極端に低い児童の得点は上昇し、高すぎる「自尊感情」得点の児童の得点が下降した。それぞれの児童にとって自尊感情の適正化が図られたのではない。